

どう動く？ 朝鮮半島！

コロナ対策
ご協力
をお願いします

～日本は北朝鮮有事に備えよ～

朝鮮半島とわが国との関係は、政治、経済、歴史認識などにおいて大きな齟齬を来したまま、関係改善にまで至らず、気まずい外交関係が続いたままになっています。

こうした時、今年5月、韓国では保守政党と言われる「国民の力」の尹錫悦（ユン・ソギョル）氏が新たな大統領に選ばれました。尹大統領は、日本との関係改善に積極的には見えますが、徴用工・慰安婦・レーダー照射・GSOMIA破棄などの問題をどうするか、解決の道は容易には見つかりそうもありません。

一方、北朝鮮は、2022年前半で撃った弾道ミサイルがすでに26発にも及び、年間の発射数は過去最多になっています。じわじわ迫りくる脅威、拉致問題も未解決のまま、わたしたちはどのように考えればよいのでしょうか。

そこで、朝鮮半島ウォッチャーとしてご高名な龍谷大学教授・李相哲先生をお招きし今後の指針を得たいと思います。ぜひご聴講くださいますよう、ご案内申し上げます。



李 相哲 先生(プロフィール)

1959年（昭和34）中国生まれ。北京中央民族大学卒業。新聞記者を経て1987年に来日。上智大学で新聞学博士。98年に日本国籍取得。現在は龍谷大学教授。専門の研究は東アジアの近代史・メディア史。大学での講義・研究の他にメディア発信に精力的に取り組み、数多くのテレビに出演したり、新聞紙上でも連載記事やコメントターとして活躍中。

〔主な著書〕

『満州における日本人経営新聞の歴史』（凱風社）、『東アジアのアイデンティティー-日中韓はここが違う』（凱風社）、『金正日と金正恩の正体』（文春新書）、『金正日秘録 金正恩政権はなぜ崩壊しないのか』（産経新聞出版）、『日中韓メディアの衝突』（ミネルヴァ書房）、『反日種族のタブー-従軍慰安婦マネーの汚れた真実』（共著 宝島社）、『なぜ日本は中国のカモなのか』（石平・李相哲共著 産経新聞出版）

日時	令和4年 10月2日 (日) 午後1時30分～4時30分頃（開場 午後12時30分）
講師	龍谷大学教授 李 相 哲 先生
会場	国民會館・武藤記念ホール
参加費	一般の方／1,000円 学生／無料

〔会場案内〕 国民會館・武藤記念ホール

大阪市中央区大手前 2-1-2（住友生命ビル12階）（電話）06-6941-2433

交通アクセス

地下鉄谷町線「天満橋」3番出口より東へ徒歩5分
京阪「天満橋」16番出口より南東へ徒歩7分



主 催：一般財団法人日本学協会

申込先：一般財団法人日本学協会関西支部
事務局／野崎眞夫 携帯 090-9879-3135
TEL/FAX 072-272-4010

E-mail：nihongaku.kansai@lily.ocn.ne.jp
又は：m.nozaki@kkf.biglobe.ne.jp

聴講をご希望の方は、裏面の「講演会聴講申込み書」にご記入の上、FAXにてお申し込みください。
コロナウィルス対策として①マスクの着用、②体温測定及び手などの消毒のご協力お願い致します。